

# 2019-2020 日本-パラオ親善ヨットレース 通信規定

レース参加艇は、動静把握などのために、以下の要領に従って適切に運営すること。  
「通信規定別紙1～6」は、艇長会議で配布する。

## 1. 通信設備

1-1 実行委員会より貸与したイリジウム衛星無線(以下、衛星トランシーバー)、およびスラヤ衛星携帯電話(以下、スラヤ衛星携帯)を使用する。

1-2 状況に応じて、各艇より登録された衛星電話、地上携帯電話(以下、携帯)および国際VHF無線(以下、VHF)を使用する。

## 2. 通信の確立

レース参加艇は、スタート前1時間からフィニッシュ後指定された港に接岸するまで、全ての通信設備を常時通話可能な状態を維持すること。

## 3. 通話テスト(ラジオチェック)

以下の方法により、通信機器の動作確認テストを「通信規定別紙-1 通話テスト手順」に基づいて行う。

### 3-1 衛星トランシーバー

横浜レース本部の衛星トランシーバーから参加艇を呼び出し、呼び出された参加艇は、横浜レース本部に定められた情報を伝える。

他の参加艇は、呼び出された参加艇と横浜レース本部との通信が明瞭に傍受できることを確認すること。

※通話時は、ゆっくり明瞭に会話し、通話終了後、送信ボタンを離すこと。

### 3-2 スラヤ衛星携帯

参加艇のスラヤ衛星携帯から横浜レース本部スラヤ衛星携帯に電話する。

※通話遅延があります。通話時は、一呼吸置いて、ゆっくり明瞭に会話すること。

### 3-3 国際VHF

通話テストは行わない。

## 4. 指定時刻の情報記録

指定時刻に自艇の情報を記録し、定時ロールコールで、その情報を横浜レース本部に報告すること。指定時刻と記録内容は、「通信規定別紙-2 定時刻記録フォーム」を参照。

### (1) 指定時刻 (日本時間:JST)

① 1回目 : 12月29日(日) 20:00

② 2回目以降 : 12月30日(月)は、08:00と20:00とし、フィニッシュまで継続する。

### (2) 記録する内容 (記録する情報)

① セイルナンバーと艇名

② 位置(緯度・経度)「(例)〇〇度〇〇分ノース、〇〇度〇〇分イースト

③ 艇速(SOG)、ヘディング(COG)、風向、風速、波高

④ 乗員・艇体の様子、その他(故障など)

## 5. 定時ロールコール

下記指定時刻から、項番4に基づき記録した情報を、横浜レース本部に報告すること。  
本ロールコールは、フィニッシュまで継続する。

(1) 使用する通信設備：衛星トランシーバーとする。

※ゆっくり明瞭に会話すること。

(2) 指定時刻(開始時刻)：① 1回目 12月29日(日)20:10  
(日本時間) ② 2回目以降 08:10と20:10(毎日)

(3) ロールコールの順番：「通信規定別紙-3 ロールコール手順」を参照。

## 6. ロールコールの成立

指定時刻におけるロールコールができなかった場合、速やかに次回ロールコール時刻までに、すべての通信設備を利用して横浜レース本部に連絡すること。メールによるロールコールを認める。尚、ロールコールが完了しなかった場合、ペナルティーを科すことができる。[DP]

## 7. 海上保安庁等関連機関への搜索要請

18時間連絡が取れない場合、当該艇の自動位置通知装置(トラッキングシステム)による位置情報(30分に1回更新)を確認、緊急連絡先に連絡し、協議の上、搜索要請をする場合がある。

## 8. バーチャルマーク-1通過時のコール

帆走指示書 13-3に基づき、バーチャルマーク-1通過時に、横浜レース本部にセール番号、艇名、現在位置およびフィニッシュ見込み時刻を連絡すること。

通信設備は衛星トランシーバーを使用するものとし、何らかの理由で使えない場合には、スラヤ衛星携帯または各艇が所有する通信手段等で連絡すること。

「通信規定別紙-4 フィニッシュ」を参照。

## 9. フィニッシュ

帆走指示書 13-5に基づき、フィニッシュが夜間になった場合、フィニッシュ直後に、横浜レース本部に交信し、セールナンバーおよび艇名等を告げること。

通信設備は衛星トランシーバーを使用するものとし、何らかの理由で使えない場合には、スラヤ衛星携帯または各艇が所有する通信手段等で連絡すること。

「通信規定別紙-5 フィニッシュ」を参照。

## 10. リタイアの通報等

横浜レース本部に通報し、最初の港に入港するまでロールコールを継続、かつ、入港後速やかに横浜レース本部に報告すること。尚、すべての通信設備は、常時通話が可能な状態を維持すること。横浜レース本部より、安全の観点から連絡をする場合がある。

《リタイア時における横浜レース本部への通報内容》

- ① リタイアした日時
- ② 場所(緯度・経度)
- ③ 理由および原因
- ④ 乗員および艇体の状態(異常の有無など)
- ⑤ 予定する避難港名
- ⑥ 避難港への到着予定日時

「通信規定別紙-6 リタイア通報」を参照。

## 11. 情報の共有

ロールコールは、横浜レース本部と参加全艇、伴走艇のグループ通話(1対複数)によって行い、ロールコール内容は、横浜レース本部と参加全艇、伴走艇、パラオレース本部で共有される。また、ロールコールで収集した各艇の位置情報等は、公式ホームページ、公式フェイスブックで公開することがある。

## 12. 非常時通信

- (1) 乗員、艇体などに異常事態が生じた場合、すべての通信手段を用いて連絡を行うこと。
- (2) 一番近くにいるレスキュー艇は、参加艇および伴走艇です。  
参加艇は、衛星トランシーバー、スラヤ衛星携帯、VHF、携帯等で緊急通信を受信した場合、速やかにできる限りの対処を行うこと。
- (3) 緊急事態に対処するため、横浜レース本部から参加全艇に対して、救助・支援要請を行う場合がある。衛星トランシーバー、スラヤ衛星携帯等、すべての通信設備は常に受信できるようにしておくこと。

※横浜レース本部、パラオレース本部(1月8日09:00開始予定)、伴走艇の衛星トランシーバー、スラヤ衛星携帯、国際VHF(ch16)、携帯は、24時間ワッチしているが、通話中などで接続できない場合は、時間を空けてから再度通話すること。  
尚、電話番号、設定chなど詳細は、「通信規定別紙-連絡先」を参照。

以上

2019-2020 日本-パラオ親善ヨットレース  
テクニカル委員会  
レース委員会